

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく
社会資本総合整備計画

きゅうとうかいどうしながわしゅくちくとしさいせいせいびけいかく
旧東海道品川宿地区都市再生整備計画

平成24年3月21日

都市再生整備計画(第1回変更)

旧東海道品川宿地区

東京都品川区

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	品川区	地区名	旧東海道品川宿地区	面積	54 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標 大目標 旧東海道沿道の歴史と調和した「出会いと発見」の場づくり 目標1 旧東海道を活かしたにぎわいの再生 目標2 品川宿にふさわしい景観の形成
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ・品川は、江戸時代は東海道の最初の宿場町として五街道で最も交通量の多い賑わいのあるまちとして栄え、魚介類等の名物や名所が多く、浮世絵にも紹介される風光明媚な地として江戸市中から多くの人々が訪れていた。 ・当地区は旧東海道の北側にあり、「北品川本通り商店会」「北品川商店街」「京急新馬場商店街」「品川宿場通り南会」「南馬場商店会」「青物横丁商店街」等の商業集積と寺社や大正・昭和初期の建物などの旧東海道らしい資源を有している。 ・東海道周辺まちなみ整備協議会、特定非営利活動法人 東海道品川宿等を中心として東海道周辺のまちなみ整備に取り組んでおり、平成18年度には「地域連携型モデル商店街事業」により一部区間で街並み整備(石畳舗装、街路灯設置、店舗修景等)を実施し、また平成17～20年度には一部区間で特定交通安全施設整備事業により電線類の地中化を実施している。 ・旧東海道沿道の景観整備に関連して、平成17年度に「しながわ景観ガイドプラン」を策定し、引き続き、景観法に基づく「品川区景観計画」の策定に取り組んでいる。また、平成19年11月に南品川三丁目地区において良好なまち並みの形成を進めていくために地区計画を決定した。 ・都市再生整備計画の策定にあたっては、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会と協議を行っている。
課題 ・当地区は、旧東海道の宿場町としての歴史的な背景と集積を持ち、商業や観光の場としてのにぎわいづくりが目指されており、そのための環境整備やまちづくり活動を促進していくことが課題である。 ・旧東海道は、石畳舗装が実施されつつあり、歩行者と車の空間が視覚的に分離され、旧東海道らしい雰囲気を感じながら歩くことができる環境が整備されつつある。しかし、その区間は一部の区間に限定されており、全区間の整備が望まれている。 ・まちづくり協議会等によるまちなみ整備、地区計画による旧東海道らしい景観づくり等、地域住民の参加によるまちづくりへの取り組みが展開されている。さらに協働によるまちづくりを促進していくことが望まれている。
将来ビジョン(中長期) 多くの観光客、買物客が訪れ交流し、居住者が安心・安全・快適に住まうことのできる現代の東海道品川宿 ・品川区市街地整備基本方針では、旧東海道沿道を「にぎわいゾーン」として区内外の人が訪れるような魅力と潤いのある空間形成を誘導し、近隣商業空間の活性化を促すとともに、観光や広域的な集客を図り、幅広い人々が楽しむことのできる商業・都市型アメニティ空間”を形成することが位置づけられている。 ・しながわ景観ガイドプランでは、歴史的景観資源を活かした街並みの再生が方向づけられている。 ・品川区都市型観光アクションプランでは、「光のあたり方によって地域の個性的な彩りを映す都市・訪れた人の数だけ物語がはじまる都市」を目標像として、その実現のため「地域を磨く」「地域を自慢する」「自慢を発信する」「旅人をもてなす」という4つの観光戦略が方向づけられている。

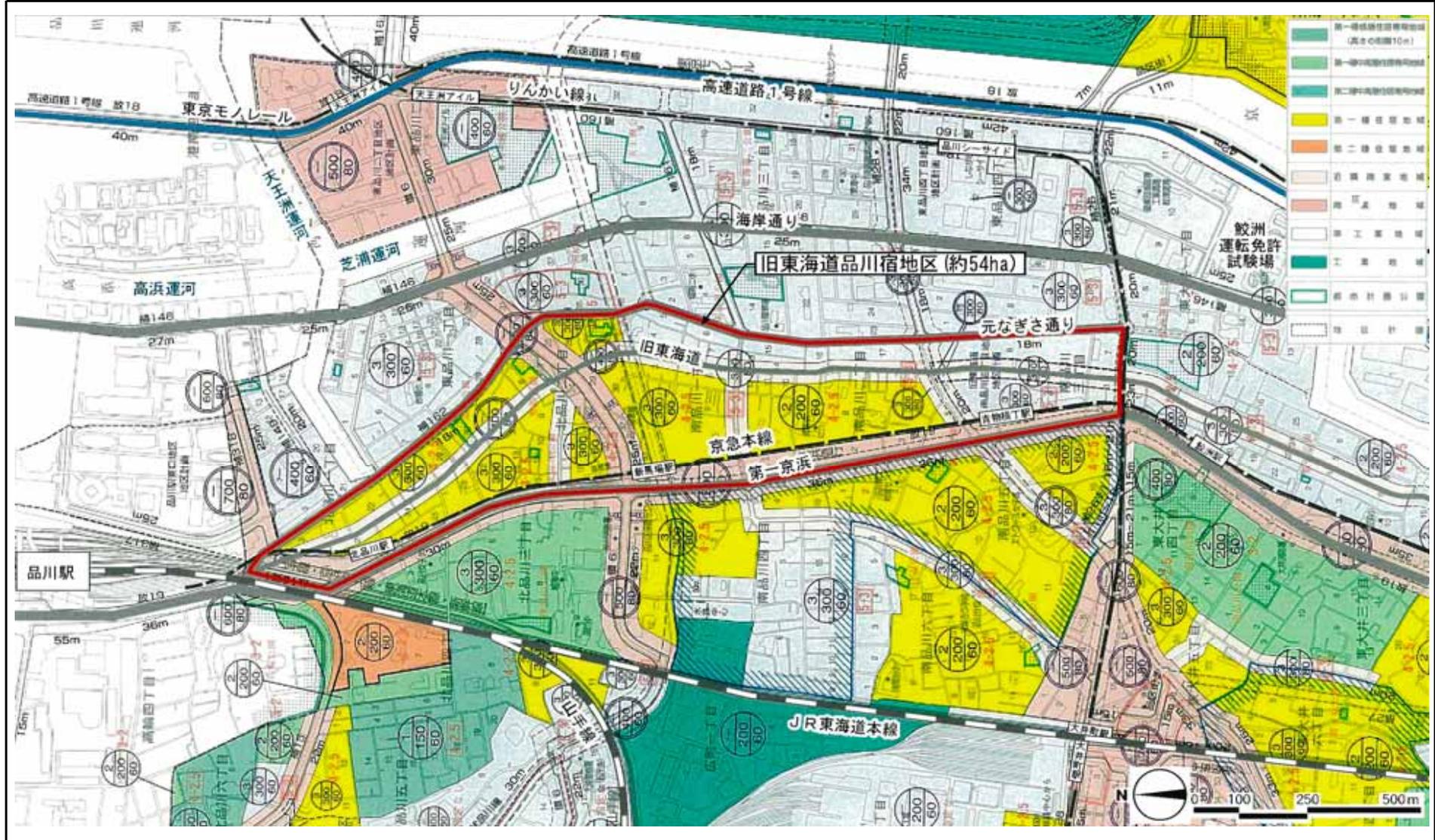
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 旧東海道の歩行者交通量	人	休日の旧東海道を歩く人の数	旧東海道の石畳舗装、街路灯の整備を推進することにより、旧東海道を訪れる観光客を増加させ、にぎわいを高める	2,160人/10時間	平成20年度	2,300人/10時間	平成25年度
2. 景観に対する意識	%	旧東海道らしい景観だと感じる人の割合	旧東海道の石畳舗装、街路灯の整備、景観まちづくり活動を推進することにより、旧東海道の魅力を高め維持する主体である旧東海道沿道居住者の愛着を高めるとともに、品川宿らしい景観形成を促進する	44%	平成20年度	50%	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:旧東海道を活かしたにぎわいの再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的環境と調和した楽しく散策できる環境づくり ・魅力ある商店街の整備 ・旧東海道沿道の観光・商業振興等のにぎわいづくり活動の推進 	<p>道路(基幹事業/電線類地下埋設/区)、高質空間形成施設(基幹事業/石畳舗装/区)、まちづくり活動推進事業(提案事業/景観シンポジウム開催/区)、商店街活性化推進事業(関連事業/区)、街なみ環境整備事業(関連事業/区)</p>
<p>整備方針2:品川宿にふさわしい景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的環境と調和した沿道等の景観づくり ・旧東海道沿道の景観まちづくり活動の推進 	<p>道路(基幹事業/電線類地下埋設/区)、高質空間形成施設(基幹事業/石畳舗装/区)、まちづくり活動推進事業(提案事業/景観シンポジウム開催/区)、景観計画策定事業(関連事業/区)、街なみ環境整備事業(関連事業/区)</p>
<p>その他</p> <p>地元組織による継続的なまちづくり活動 当地区では、商店街、町会、企業、住民などのメンバーで構成される「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」による景観まちづくり活動が行われている。</p>	

都市再生整備計画の区域

旧東海道品川宿地区(東京都品川区)	面積 54 ha	区域 北品川一丁目の一部、北品川二丁目、南品川一・二・三丁目の全部
-------------------	-------------	--------------------------------------



旧東海道品川宿地区(東京都品川区)整備方針概要図

目標	大目標 旧東海道沿道の歴史と調和した「出会いと発見」の場づくり	代表的な指標	旧東海道の歩行者交通量(人/10時間)	2,160	(20年度)	2,300	(25年度)
	目標1 旧東海道を活かしたにぎわいの再生 目標2 品川宿にふさわしい景観の形成		景観に対する意識 (%)	44	(20年度)	50	(25年度)

